

平成 17 年 8 月 11 日

各 位

会 社 名 ケネディクス株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 本 間 良 輔  
(コード番号 4321 東証1部)  
問 い 合 せ 先 取締役兼執行役員CFO 吉 川 泰 司  
電 話 番 号 (03) 3519-2530

平成 17 年 12 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 17 年 2 月 15 日の決算発表時に公表した平成 17 年 12 月期（平成 17 年 1 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日）の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期の業績予想の修正（平成 17 年 1 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日）

(1) 連結

(単位：百万円)

	営業収益	経常利益	当期純利益
前 回 予 想 ( A )	7,400	3,850	2,220
今 回 修 正 ( B )	12,300	6,800	4,000
増 減 額 ( B - A )	4,900	2,950	1,780
増 減 率 ( % )	66.2	76.6	80.2

ご参考：前期の実績（平成 16 年 1 月 1 日～平成 16 年 12 月 31 日）

前 期 の 実 績 ( A )	6,052	2,733	1,633
-----------------	-------	-------	-------

(2) 単体

(単位：百万円)

	営業収益	経常利益	当期純利益
前 回 予 想 ( A )	5,010	2,780	1,690
今 回 修 正 ( B )	8,200	5,600	3,600
増 減 額 ( B - A )	3,190	2,820	1,910
増 減 率 ( % )	63.7	101.4	113.0

ご参考：前期の実績（平成 16 年 1 月 1 日～平成 16 年 12 月 31 日）

前 期 の 実 績 ( A )	4,280	1,907	1,137
-----------------	-------	-------	-------

## 2. 修正の理由

当期においても物件取得が順調に進み、平成 17 年 6 月末のアセットマネジメント受託残高は 3,018 億円に達しました。この結果、不動産ファンドからの物件取得に係るアキュジションフィー及び物件保有期間中のアセットマネジメントフィーが当初の予想を上回る見込みとなりました。

一方、ファンドの物件売却も好調であり、アセットマネジメント事業及び債権投資マネジメント事業の両事業において、成功報酬であるインセンティブフィーが大幅に増加する見込みとなった他、開発案件を中心とする自己勘定投資物件の売却益が当初の予想を上回る見込みとなりました。

さらに、当社の 100%子会社であるケネディクス・リート・マネジメント(株)が運用するケネディクス不動産投資法人が平成 17 年 7 月 21 日に株式会社東京証券取引所不動産投資信託証券市場に上場し、その資産運用を開始するに当たり、平成 17 年 8 月 1 日に 29 物件を取得いたしました。これにより、各種フィー収入をはじめとする当社グループへの利益貢献が見込まれることとなりました。

上記の結果、連結及び単体ともに、通期の営業収益、経常利益及び当期純利益が予想を上回る見込みとなったため、通期の業績予想を修正することといたしました。

なお、単体の業績予想修正については、上記の事業展開上の要因に加え、当初の予想では見込んでいなかった子会社からの配当金が多額に計上されたことも要因の一つとなっております。

以 上